

アイテム

アートな伊丹を
「観る・行く・体験」

アイテム

2015.4-6 春号
公益財団法人
伊丹市文化振興財団
TAKE FREE

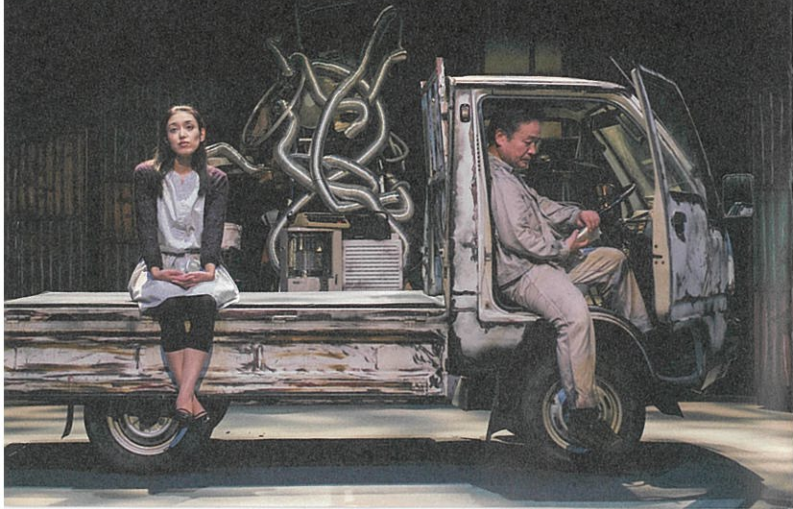
A・HALL

文化庁芸術祭 優秀賞受賞

特集

劇団太陽族代表&アイホール ディレクター・岩崎正裕さんに聞く

「公共ホールの創った作品が 受賞するということ」



本で解決!
お悩み
相談室

お父さんが何の仕事をしているのが
ちゃんとおしえてくれませんか。
毎日どんな事してるのを知りたい!

(あんちゃん 8さい)

明るく楽しいお悩み募集中 図書館南分館まで!



本のことなら
おまかせ!
みなみさん

みなみさんの
オススメ本



【パパのしごとはわるものです】
板橋 雅弘/作、吉田尚尙/絵
(岩崎書店)

この絵本の「ぼく」は、パパのしごとを調べるためにこっそりあとをついていくのですが、そこで見たパパの姿は、なんとわるものだったというショックなことが! あなたのパパもわるものだったらどう思う? でもパパがどんなお仕事でもあなたのことを考えて動いてくれています。あなたもパパを見守っててくださいね。

おまえなあ、大人にだって知られたくない事があるんだよ。この本の主役のおじさんも、りすとらってのにあってもしょくって仕事してるんだけど、子供には秘密らしい。父ちゃんのも人に言えない仕事なんだろう。忍者とかスパイみたいな。ひとつと言えるのは、おまえらのために毎日必死でがんばってるって事だよ。

ぶんたくんの
オススメ本



【ひなた弁当】
山本 甲士・著
(中央公論新社)



図書館大好き!
ぶんたくん

ラストホール1Fの図書館

伊丹市立図書館 南分館

南野2-3-25 ☎072-781-7333

アイテム

2015年4月1日発行(季刊春号・通巻83号)
発行:公益財団法人伊丹市文化振興財団
編集・デザイン/平井和哉(0.1knot)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
いたみホール(伊丹市立文化会館)内
tel.072-778-8788 fax.072-778-8585
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan/
e-mail itami-kikaku@bcb.bai.ne.jp



美術館 / 『ぐりとぐら展』(4/11(土)~5/31(日))
5組10名 ※締切/4月25日

プレゼントをご希望の方は、ハガキまたはメールで
郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、
上記文化振興財団宛「アイテムプレゼント係」まで。
! 当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

みやのまえ
文化の郷
美術館
工芸センター
伊丹郷町館
補償文庫

文化庁芸術祭優秀賞受賞!

特別インタビュー

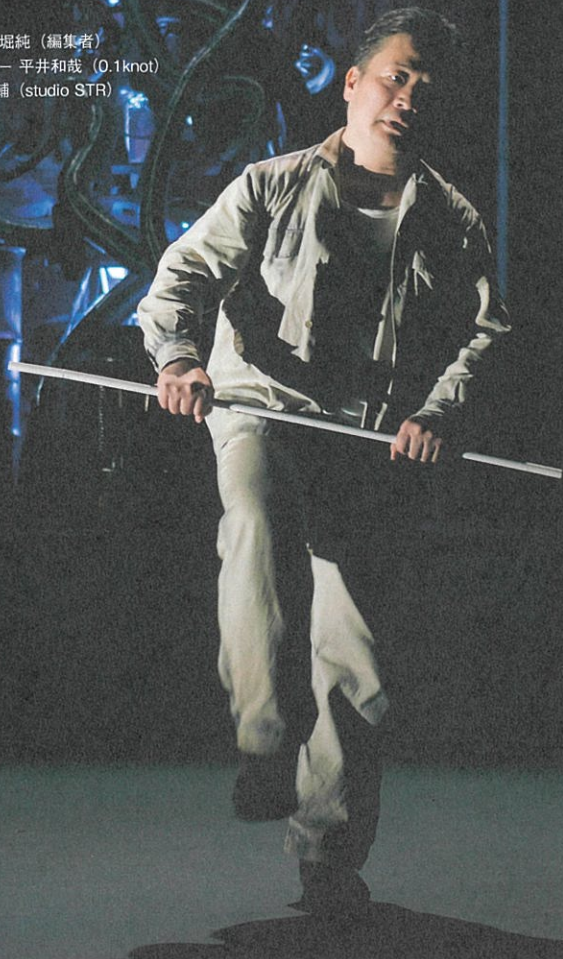
公共ホールの創った作品が 受賞するということ

岩崎正裕 (劇団太陽族代表、アイホールディレクター)

インタビューア—小堀純 (編集者)

Photo / インタビュー 平井和哉 (0.1knot)

舞台 岡大輔 (studio STR)



地域劇場連携による共同企画

劇団太陽族『それからの遠い国』

作・演出：岩崎正裕

公演日：2014年10月3日(金)～5日(日)

岩崎正裕率いる劇団太陽族の代表作にして、90年代演劇の傑作のひとつ『ここからは遠い国』(1996年)の続編。日本を震撼させた「オウム真理教事件」から16年。東日本大震災後の現在を、シェイクスピアやチャーホフの名セリフを巧みに引用しながら、生活言語である関西弁をリアルに駆使して普遍的な家族像を描き、高い評価を得た。伊丹公演のほか、津・長久手・北九州の公共ホールを巡演し、各地で好評を博した。

平成26年度 第69回文化庁芸術祭

〈演劇部門〉関西参加公演の部

優秀賞

AI・HALL

伊丹市立演劇ホール

劇団太陽族 『それからの遠い国』 の成果

関西屈指の小劇場、 アイホール

文化庁芸術祭でアイホールが受賞した、このニュース。すでにご存知であれば、なかなかの演劇通だ。文化庁芸術祭は、昭和21年から毎年秋に開催され、演劇、音楽、舞踊、大衆芸能、さらにはテレビ、ラジオ、レコードの中から、特に優れた作品に賞が贈られる、伝統ある芸術の祭典。そこでアイホールは劇団太陽族とともに創った『それからの遠い国』で見事「優秀賞」を受賞した。

受賞理由として「今なお不安と焦燥に満ちた日常を送る主人公

と、妹の若い劇団仲間との会話が、現代の若者意識を照射する。時に古典演劇のせりふを引用しつつ、「地域で演劇を作り続けること」の意味に真摯に迫った内容と演技は、公共劇場での上演作としての意義と力強さを感じさせた」と評価された。

そもそもアイホールは、関西屈指の小劇場として、平成17年に地域の芸術環境づくりに貢献している施設を顕彰する「AFERAアワード(総務大臣賞)」を受賞するなど、すでに全国的に高い評価を受けている。

今回、受賞を記念し、劇団太陽族代表であり、アイホールディレクターである岩崎正裕さんにお話を伺い、アイホールの軌跡と活動に迫ってみよう。

公共ホールの創った作品が 受賞するということ

危機感が 作品を書かせる

小堀 文化庁芸術祭優秀賞受賞おめでとございます。今回受賞の対象となった作品『それから』の遠い国』は岩崎さんと劇団太陽族の存在を世に知らしめた傑作『ここからは遠い国』(※1)の続篇的から描いています。『ここから』の初演が阪神淡路大震災の翌年の1996年。『それから』は東日本大震災の翌年、2012年が初演。昨年、再演となったわけですが、『ここから』から『それから』までずいぶん時間がかりましたね。

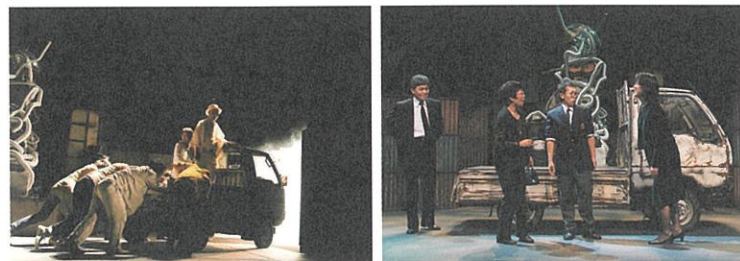
岩崎 僕としては続篇を「どうして書かなかったか」が、とても重要なわけです。『ここから』の上演で僕も劇団も注目していただけるようになり、続篇を何度か考えたことはあったんですが、オウム事件の裁判も長期化しているし、決定的な続篇は中々書けなかった。いつの間にか10年以上の月日が過ぎ、ある時「あの頃、30代だった信者たちは、今どうしているんだろう？」と思ったんです。オウム事件以降の日本社会が、他者への寛容をどんどん失いつつあるという危機感が東日本大震災を経て、より顕著になってきた。『ここから』を書いた時の感覚が重なってきたんですね。主人公のヨシマサがそのまま16年、歳を重ねたらあの家族はどうなっているんだろう。そう考えたら、書いてみたくなりました。

小堀 三女の真理はまだ演劇を続けているし。岩崎 そうなんです(笑)。かつて学生劇団だった人が16年経って、悩みながら演劇を続けている。それは僕自身にも重なります。

表現者と劇場が 連携する

小堀 『ここから』はアイホールが初演ですし、『それから』もアイホールで生まれた作品です。しかも今回の再演はアイホールが中心となって、愛知県(長久手)と三重県(津)の公共ホールによる共同企画でした。岩崎さんはアイホールのディレクターでもあります。この企画に対しては？

岩崎 やはり、芸術祭の優秀賞をアイホールがいただいたことに非常に意義があると思います。劇団主体で演劇界が進んできた中で、



岩崎正裕

劇作家・演出家・劇団太陽族代表。1997年『ここからは遠い国』で第4回 OMS 戯曲賞受賞。社会で起こる事件や現象を題材に、人との関係性に重点を置いた普遍性のあるドラマ作りで定評がある。また、全国各地で劇作や演出のワークショップ指導者としても活躍中。2008年からアイホールの劇場ディレクターに就任。

小堀 純

1953年名古屋生まれ。「名古屋ブレイガイドジャーナル」、大阪の「ブレイガイドジャーナル(ぶがじゃ)」編集長、季刊「劇の宇宙」編集長を経て、現在はフリーの編集者・ライターとして活動。中島らもの作品集のほか、北村想の戯曲集など演劇書の編集も数多く手がける。



公共ホール、それも各地の公共ホールが作品づくりに取り組んで、その成果が評価されたことは画期的ですし、自信になります。小堀 もともと関西はOMS(※2)はじめ、劇場と表現者が協働して作品を創ってきたという伝統があるし、アイホールの役割は大きいですね。岩崎 表現者と劇場の関わりがより強固になっていかなといけません。大阪は文化不毛の状態が続いていますが、伊丹市のアイホールがこれからは起爆剤となって、若い世代と共にしっかりと作品を創っていく事業を継続していかなければと思います。小堀 じゃあ次は是非、『大阪マクベス』(※3)をアイホールで再演してください。期待しています。

(※1) 『ここからは遠い国』

初演：1996年2月9日～11日@アイホール

1995年に日本を震撼させた「オウム真理教事件」をモチーフに、翌年に初演された劇団太陽族の代表作。カルト教団から脱退して軽トラックにこもる若者と、その家族の葛藤と再生の物語。家族のつながり、社会との関わり、生き続けていることの意味を問いかけ、高い評価を得た。photo / 石川隆三

(※2) OMS

扇町ミュージアムスクエア(1985～2003)。大阪ガスグループが運営し、関西小劇場の中心だった複合文化施設。劇場の名前を冠した「OMS戯曲賞」は、次代を担う劇作家を発掘する関西発信の戯曲賞として、OMS閉館後も、今なお、全国的に注目を集めている。

(※3) 『大阪マクベス』

初演：2011年2月4日～7日@アイホール

近未来の大阪を舞台に、音楽・ダンス・アクションを盛り込み、シェイクスピアの『マクベス』を現代劇に翻案。古典作品の魅力と普遍性を再検証するとともに、政治と文化のあり方、現代社会のさまざまな問題に鋭く切り込んだ作者渾身の意欲作。photo / 石川隆三 (studio STR)



アイホールでは 今後も見逃せない 話題の劇団が 続々登場！

「追伸」初演より



4/17 (金)~4/19 (日)

“届けられなかった言葉”を巡る物語

日常に潜む社会の闇や、ヒトの佇む姿を丁寧に描く作品に定評がある劇団「空の驛舎」。関西を拠点に精力的に作品を発表し続け、20年以上のキャリアを持つ主宰の中村賢司が第20回 OMS 戯曲賞大賞を受賞した作品を再演。手紙の本文より書き手の深い思いが込められた言葉「追伸」を巡り、死に対する思いが切なく伝わる三つの物語をお送りします。

空の驛舎 (そののえき)

第18回公演「追伸」

作：中村賢司 演出：空ノ驛舎

4/17 (金) 19:30、4/18 (土) 14:00/18:00、4/19 (日) 11:00/15:00。
一般3,000円 (当日500円増)、ペア5,500円、22歳以下2,000円、
高校生以下1,000円。全席自由。072-782-2000

撮影：清水俊洋



4/24 (金)~4/26 (日)

演劇界の実力派による異色作の再演！

関西劇作家の登竜門、OMS 戯曲賞で第18回大賞・第20回特別賞を立て続けて受賞してきた実力派、林慎一郎の演劇ユニット「極東退屈道場」。今回は特別賞受賞作『タイムズ』を、「座・高円寺」芸術監督の佐藤信の演出で再演します。スピード感あふれるセリフと予期せぬ場面展開に満ちた舞台をお見逃しなく。

極東退屈道場『タイムズ』

作：林慎一郎 演出・美術：佐藤 信

4/24 (金) 19:30、4/25 (土) 14:00/18:00、4/26 (日) 14:00。
一般3,200円 (当日300円増)、ペア5,500円、22歳以下2,000円、
高校生以下1,500円。全席自由。072-782-2000

撮影：江森康之



6/11 (木)~6/14 (日)

ライブ感あふれる新しいロックミュージカル

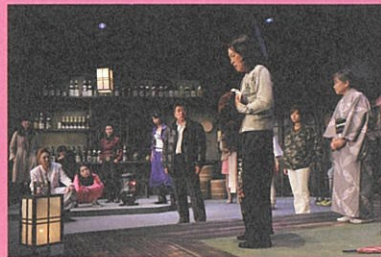
関西で旗揚げ後、東京に活動拠点を移し、人気劇団へと成長を遂げた劇団鹿殺し。オリジナル音楽や身体的パフォーマンスを盛り込んだエンターテインメント性の高い作品で好評を博しています。今回はエネルギーあふれるライブで注目を集めるシンガーソングライター・石崎ひゅーいを迎え、全編生演奏によるロックオペラに挑戦します。

劇団鹿殺し『彼女の起源』

作：丸尾丸一郎 演出：菜月チヨビ

6/11 (木) 19:00、6/12 (金) 19:00、6/13 (土) 13:00/17:00、
6/14 (日) 13:00/17:00。一般4,900円、学生3,500円。
全席指定。072-782-2000

舞台だけではない アイホールの多彩な活動 エトセトラ



撮影：中才知弥 (Studio Cheer)

演劇ラボラトリー

関西で活躍する演劇人を講師に、初心者から本格的な演劇公演を実施する演劇実践講座。公募で集まった15名程度の受講生が、40回の演技を中心としたワークショップを経て、単なる発表会におさまらない本格的な演劇公演を体験します。

伊丹想流私塾

劇作家の北村想さんを塾長に、現役劇作家の指導による実践的な戯曲講座。修了後にはプロの演出家と俳優によって、受講生の作品を上演。関西の劇作家登竜門であるOMS戯曲賞の受賞者を多数輩出している人気講座です。



土曜日のワークショップ

土曜日の午前中、1コイン(500円)で気軽に舞台芸術に触れることができる体験講座。演劇やダンスのプロのアーティストによる多彩なプログラムが魅力。少人数のアットホームな雰囲気、講師と受講生や、受講生同士の新たな交流の場になっています。

アウトリーチ事業

プロの演劇人と共に伊丹市内の小中高校へ向けて「演劇の授業」を行う普及啓発活動。グループ毎に台本を書いて、練習から発表、そして振り返りをするまでのプログラムは、クラスのコミュニケーションが活発になると話題です。



子どもたちが演奏者と近い距離で音楽を

超絶タンバリンと にじいろアコーディオンの世界

ちぎゅうの
音楽さんぽ
～kids vol.3

学芸員日々是 作品随想

伊丹市立美術館 学芸員／岡本梓



「ぐりとぐらの1ねんかん」(1997年「こどものとも」) 原画
(中川李枝子/作、山脇百合子/絵、福音館書店刊、原画/宮城県美術館蔵)
©Rieko Nakagawa ©Yuriko Yamawaki

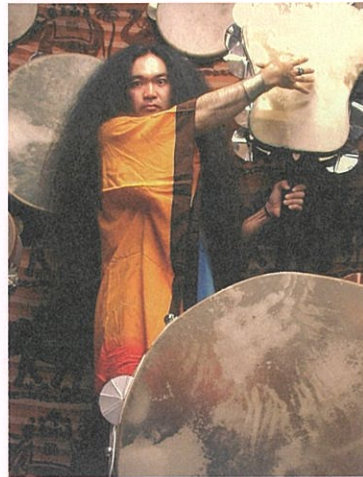
「ぐりとぐら」がやってきた！

青と赤のトンがり帽子と吊りズボンがトレードマークのふたごの野ねずみ「ぐり」と「ぐら」。一卵性双生児でどちらも男の子のふたりは、そっくりなので見分けるのが難しいけれど、身につけているものが青い方が「ぐり」、赤い方が「ぐら」で、実は「ぐら」の赤い帽子の方が少しだけ短いのです。ちなみにリュックや水筒などおそろいの小物は緑色であることが多いのだとか。

ふたりが世界で一番好きなのは、料理をすることを食べること。畑で野菜をつくるほどの本格派で、大きなカステラやお弁当のサンドイッチなど、いつも美味しうなものが登場します。でもケチじゃないから、いつもたっぷりつつっては、匂いにつられて集まってくる。

青と赤の仲間や出会った動物たちと楽しく一緒に食べます。そんな幸せそうな彼らの日常に憧れた人は多いでしょう。

「ぐり」と「ぐら」が生まれてから50年が経ちました。保育士だった中川李枝子さんが書いた物語に、6歳年下の妹である山脇百合子さんが優しくあたたかい絵をつけて、「ぐりとぐら」のお話は7つの絵本が出されるほどの大人気シリーズとなりました。親子3世代に愛されるロングセラーを記念する展覧会では、全作の絵本原画を初めて大規模に紹介します。さらに「ぐりとぐら」アニメ化の秘話が明かされる映画監督・宮崎駿さんと中川さんと対談映像もあります。ようこそ、「ぐりとぐら」の世界へ！



田島 隆【タンバリン】

世界中のタンバリンを演奏。オリジナルのタンバリンも製作し、ギターとタンバリンが合体した「ギタンバリン」なども演奏し「タンバリン博士」と呼ばれる。



かとうかなこ【アコーディオン】

4歳からアコーディオンをはじめ。高校卒業後フランスに渡り、4年の留学中に「全仏コンクール」第1位を獲得。帰国後、全国でコンサート活動を行う。

世界旅行に でかけよう！

世界のタンバリンやドラムセットのようなタンバリンたちとアコーディオンで、わくわくドキドキな世界旅行に出かけよう！

今回の「ちぎゅうの音楽さんぽ」は、世界中のタンバリンを演奏し「タンバリン博士」の異名をとる田島隆さんと、留学中に「全仏コンクール」第1位を獲得し、帰国後アコーディオン奏者として活躍する、かとうかなこさんのスペシャルコラボ。

フランスのダンス音楽「スタイルミューゼット」や「フニクリフニクラ」「サザエさんのテーマ」など、多彩なプログラムを親子でこゆっくりにお楽しみください。

aiphonic 地球音楽プログラム

ちぎゅうの音楽さんぽ～kids

vol.3 「超絶タンバリンとにじいろアコーディオンの世界」

出演：田島 隆 (タンバリン)、かとうかなこ (クロマチック・アコーディオン)

6月6日(土) 10:30 開場 / 11:00 開演

親子1組(3人まで)2,500円、全席自由、定員33組

世界の伝統音楽・踊り

伊丹アイフォニックホール

宮ノ前1-3-30 ☎072-780-2110

誕生50周年記念 伊丹市制施行75周年記念 ぐりとぐら展

4月11日(土)～5月31日(日) 10時～18時(入館は17時半)

月曜休(5/4は開館、7日は振替休館)、一般900円、大高500円、中小200円

会場：伊丹市立美術館・伊丹市立工芸センター

諷刺とユーモア

伊丹市立美術館

宮ノ前2-5-20 ☎072-772-7447

6/6(土)～6/28(日)

20人の工芸作家の“うつわ”たち

工芸センター



佐藤文子「山澤宗文長角皿」

東海・甲信越地方で活動する気鋭の作家 20 名による陶芸・漆芸・木工・竹工の“うつわ”を一堂に展示。様々な素材や技法で作られた作品をご覧ください。7/3(金)～7/20(月・祝)には、第2部 東海・甲信越のうつわワークショップ・陶器を開催。

東海・甲信越のうつわ展 /
第1部 東海・甲信越の工芸 一陶・漆・竹・木
6/6(土)～6/28(日)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。
月休(祝日の場合、翌日)。無料。072-772-5557

6/7(日)～6/21(日)

多彩な美術の祭典

美術館



年に一度の「伊丹美術協会展」が今年も開催されます。協会員による洋画・日本画・写真・書・彫塑・工芸・デザインと、多様なジャンルの作品を展覧。具象作品から抽象作品まで、多彩な出品作で活気あふれる展覧会をお楽しみください。

平成27年度 伊丹美術協会展
6/7(日)～6/21(日)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。
月休。入場無料。072-772-7447

7/18(土)

マンハッタン・ジャズ・クインテット結成30周年!

伊丹アイフォニックホール



photo by Mayumi Nashida

ニューヨークの超一流ミュージシャンで構成される、奇跡のジャズ・グループ「マンハッタン・ジャズ・クインテット」が当ホール初登場。ジャズのスタンダード・ナンバーを中心とした名曲の数々をお届けします。

aiphonic 地球音楽プログラム
「円熟の極みへ～MJQ 結成30周年記念コンサート」
7/18(土) 15:00。一般4,000円/学生3,000円(当日各500円増)
全席指定。072-780-2110

プレビュー

※イベントにより、未就学児の入場の制限等がある場合がございます。
詳細は各施設にお問い合わせください。

7/26(日)

子ども大人も楽しめる華やかな舞台!

いたみホール



世界中で愛されている童話「眠りの森の美女」を、名バレエ団が、全3幕(プロローグ付き)の本格的クラシック・バレエでお贈りします。誰もが楽しめる本場のステージをご堪能ください!

眠りの森の美女 ～キエフ・クラシック・バレエ～
発売開始:4/10(金) 9:00～窓口販売、14:00～電話予約
7/26(日) 15:00。S席6,500円、A席5,000円。全席指定。072-778-8788
※4歳以上入場可、有料※演奏は特別録音音源を使用。公演時間:約2時間。

8/9(日)

夏休みは劇団四季ミュージカルに!

いたみホール



「人間になりたがった猫」に描かれるテーマは“命の大切さ”や“人を思いやる気持ち”。劇団四季ファミリーミュージカルの中でも屈指の人気作がいたみホールに。大切な想いをぜひ劇場に感じに来てください。

劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」
発売開始:5/8(金) 9:00～窓口販売、14:00～電話予約
8/9(日) 17:00。一般4,000円、子ども(小学6年生以上)2,500円
(当日各500円増)。初日のいたみホールはお一人様6枚まで。全席指定。072-778-8788
※3歳以上有料、3歳未満のお子様は保護者1名につき1名席上の観覧の場合無料。

通年営業中

作家の一点ものを大切な方への贈り物に!

伊丹郷町館



陶磁器・ジュエリー・ガラス・染織など、「伊丹国際クラフト展」で入選した全国の作家約100人の作品を展示販売しています。一年を通して季節に合わせたフェアを開催。素敵な作品を探しにお越しください!

伊丹郷町クラフトショップ ～母の日フェア 父の日フェア～
母の日フェア 4/25(土) 5/10(日)、父の日フェア 6/6(土)～6/21(日)。
伊丹郷町館 旧石橋家住宅1階。10:00～18:00(入館は17:30まで)。
月休(祝日の場合、翌日)。工芸センター 072-772-5557

4/22(水)～7/6(月)

チョウの世界へ、ようこそ

伊丹市昆虫館



ギフチョウ

畑明夫氏より寄贈された蝶標本を公開します。貴重なチョウの標本も。採集道具や標本作製道具も展示のほか、チョウの生態や身近なチョウの飼育方も紹介します。*関連イベントは昆虫館までお問い合わせください。

企画展「チョウのふしぎ～畑明夫寄贈蝶標本～」

4/22(水)～7/6(月)。9:30～16:30(入館は16:00まで)。
火休(5/5開館)。大人400円、中高生200円、3歳～小学生100円。
072-785-3582

4/25(土)～4/26(日)

懐かしの名画をスクリーンで

ラストホール



真昼の決闘

古きよき名画3作品を、二日間にわたって上映します。ミュージカル映画の傑作や緊迫の西部劇をワンコイン(500円)で気軽にお楽しみください。<各作品の上映時間>「雨に唄えば」A・E、「巴里のアメリカ人」B・D、「真昼の決闘」C・F

ラスト映画倶楽部 クラシック名画特集

4/25(土) A10:00、B14:00、C18:00。4/26(日) D9:30、E12:30、F15:30。500円(当日200円増)。全席自由。072-781-8877

4/25(土)

フックブックロー傑作君「たにけん」の歌を

いたみホール



NHK Eテレ「フックブックロー」でけっさくくん(平積傑作)として活躍中の谷本賢一郎が贈るファミリーコンサート! 番組の曲も織り交ぜ、温かく力強い歌声で楽しい歌の数々をお届けします! みなさんでお楽しみください。

たにけんのファミリーコンサート

4/25(土) 14:00。大人2,000円、子ども(3歳～小学生)1,000円。
全席指定。078-778-8788 ※3歳以上有料、3歳未満のお子様は保護者1名につき1名席上での観覧の場合無料。

アイテムおすすめのイベント

4/29(水・祝)

みんなでたたけば怖くない?!

ラストホール



たたけば音がでるのが打楽器。楽器経験がなくても、楽譜が読めなくても大丈夫です。ジャンベやコンガなどいろんな打楽器をご用意してお待ちしております。皆で輪になって打楽器演奏を楽しみましょう! 大きな音を出せば、テンションあがって気分爽快ですよ。

打楽器ワークショップ～みんなでたたこう!

4/29(水・祝) 10:30/13:30。各コース大人1,500円、小学生1,000円。
打楽器持参の方は1,000円。要予約。072-781-8877

5/22(金)～5/24(日)

寄る辺のない若者たちを描く

アイホール



写真 河西沙織(劇団四季)

若い才能の発掘と育成を目的とした“次世代応援企画 break a leg”。今回は、注目の若手劇団「匿名劇壇」が登場。現実には寄る辺のない若者たちを描く新作「悪い癖」を上演します。

匿名劇壇「悪い癖」

5/22(金) 19:30、5/23(土) 15:00/19:30、5/24(日) 13:00/17:00。
一般2,800円(当日200円増)、学生2,500円(当日300円増)、18歳以下1,500円。全席自由。072-782-2000

5/26(火)

重要文化財の酒蔵でバロックの神髄を

伊丹郷町館



第3回演奏会より

関西で第一線のソリストやオーケストラで活躍しているメンバーで結成された古楽アンサンブル「オルフェオ楽派」の第4回演奏会。酒蔵での比類なきバロックコンサートをお楽しみください。曲目/パーセル:歌劇「妖精の女王」より他

オルフェオ楽派 第4回 演奏会

5/26(火) 19:00。伊丹郷町館内「旧岡田家住宅・酒蔵」。前売2,500円、当日3,000円、小中生1,500円、全席自由。072-772-5959